

湖国が滋る・水と緑の街づくり

月刊



2007/12
vol.143

平成 19 年 12 月 1 日発行 通巻 143 号
昭和 40 年 8 月 21 日第 3 種郵便物認可
発行/社団法人 滋賀県建築士会
〒 520-0801
滋賀県大津市におの浜 1-1-18 建設会館 3F
TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.biwa.ne.jp



滋賀のヴォーリス建築 (第 3 回)

ヴォーリス 記念病院 ツッカーハウス

近江療養院(近江サナトリウム)、現在ヴォーリス記念病院は、ヴォーリスによる近江ミッションの事業部門として旧八幡町の北郊、金田村北ノ庄に大正7年5月25日に開院されている。良好な環境の下で、日本で2番目に建設された理想的な結核の療養を目的としたもので、以来キリスト教主義に基づく慈善的医療が進められてきた。撮影 中谷 愛子

CONTENTS

- 湖国の黒川作品……………2
「豊積の里総合センター」
- 建築関係 5 団体合同年賀会の…3
お知らせ
- 建築士のための滋賀県知事指定講習会
- 平成 19 年度 二級・木造建築士
免許証交付式
- 家族親睦旅行……………4
「郡上八幡&アクア・とと岐阜」
- あーき塾『窓採りデザイン』セミナー
- 大原小学校総合学習がはじまりました。
- 史上最大のベニヤドーム
- Do シリーズ No.48……………5
秋の研修見学ツアー報告書・次回予告
- 支部だより……………6
大津支部・湖南支部・甲賀支部
湖東支部・彦根支部・湖北支部
滋賀高島支部・滋賀湖西支部
- 12 月の暦……………8
- 滋賀のヴォーリス建築

湖国の黒川作品「豊積の里総合センター」

建築家「黒川紀章氏」の訃報に接し、滋賀県に唯一存在する氏の作品「豊積の里総合センター」について国際的にまた国内各地で多くの作品を手がけておられた黒川氏の手にとどのような経過で委ねられたのか、当時の関係者の方々よりお話を伺い、当時の状況を垣間見るとともに氏の功績をたたえたいと考える。

平成2年ごろ、某新聞のコラム欄に氏の記事が掲載された。その内容は、「京都の南山城村が、村の年間総予算相当（一般会計）での文化ホールプロジェクトを計画され、私に村長自らが何回も手紙で設計の依頼をしてこられ（ラブレターというか）その熱意に打たれ仕事を受けることになった。私はこれまでは日本のみならず世界各国の都市部を中心とした大規模な建築を数多く手がけてきたが、これを契機に地方にも目を向け、社会貢献していきたい。」というものであったらしい。

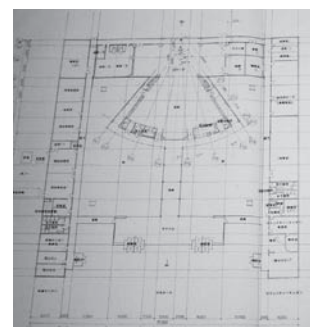
たまたま、当時の中主町議会議員の中に南山城村村長と戦友の方がおられたこともあり、その縁で議員全員が南山城村役場を訪れ、村長からこのプロジェクトにかかる思いを確認し、中主町も南山城村のように世界的に有名な黒川氏に設計依頼し、後世にわたり町民が誇れる施設を建設しようという機運になったそうです。

当時はバブルの全盛期で世の中はイケイケムード、早速当時の那須町長が南山城村村長を仲介に黒川氏と直接面談のうえ設計を依頼されました。その後、黒川氏が中主町に来町。町内を巡回され、施設イメージを描く中で「豊積の里センター構想」のコンセプト『歴史と未来の共生』を提案されました。

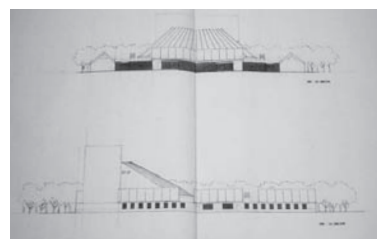
施設は、平成4年の春に完成。7月に竣工記念式典が盛大に催されました。氏はセンターの名称決定にも係わり、応募された96点の中から、設計趣旨にあった応募作の中から、複合施設全体の名称を「中主町豊積の里総合センター」に、文化ホールを「さざなみホール」と決定されたそうです。

豊かな田園地帯に、ひときわ目を引く建物。黒川紀章氏の設計によるこの施設、野洲市民とりわけ旧中主町民の方々にとって、いつまでも誇れる施設にちがひありません。

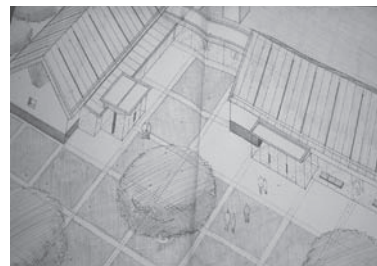
この文章を掲載するにあたり、旧中主町役場職員の方々にご協力をいただき有難うございました。紙面を借りてお礼申し上げます。



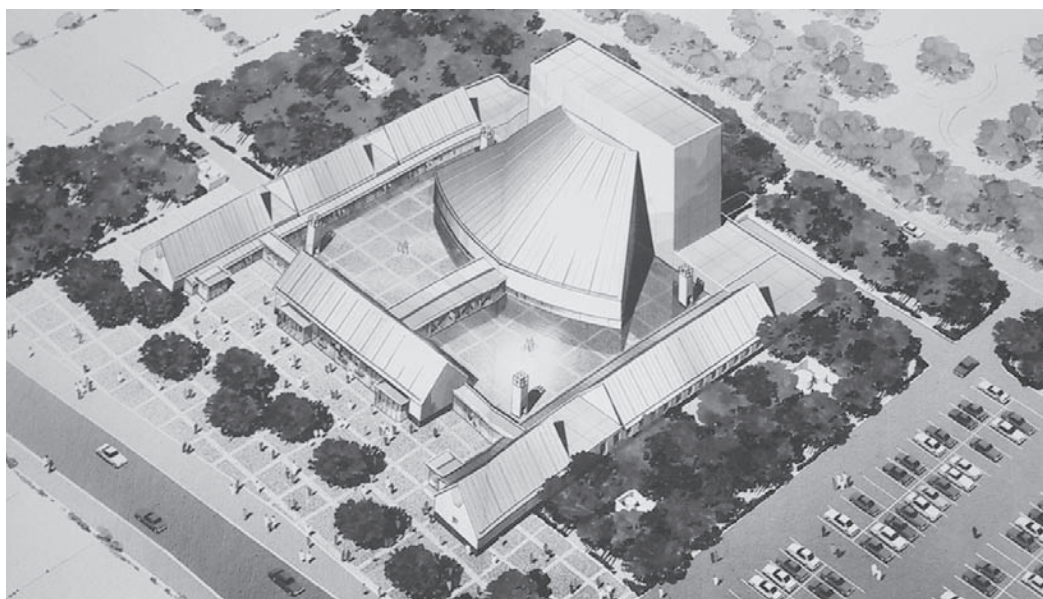
基本計画（1階平面図）



基本計画（立面図）



基本計画（エントランススケッチ）



平成2年10月にまとめられた基本計画（ベース）

建築関係 5 団体合同年賀会のお知らせ

例年恒例となっております、平成 20 年“新春の集い”を建築関係団体と合同で開催いたします。皆様には是非ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記	
●開催日：平成 20 年 1 月 11 日 (金)	●共催団体名 (社)滋賀県建築士会 (社)滋賀県建築士事務所協会 (社)滋賀県建築設計家協会 (社)日本建築家協会近畿支部滋賀地域会 滋賀県建築設計監理事業協同組合
●会 場：大津プリンスホテル コンベンションホール「淡海」 大津市におの浜 4-7-7 TEL. 077- 521- 1111	
●年賀会：16：00～ 年賀式典 年賀懇親会	
●会 費：5,000 円	
●送迎バスを大津駅前より下記の時間に御用意いたしております。 大津駅前 日本生命ビル 琵琶湖 (北側)へ 50 m先 ▶ 15：10 ▶ 15：30 (シャトル便) ▶ 15：40	

同封のはがきにて12月27日(木)[厳守]までに欠の連絡をお願いします。出席されない方返信不要です。一事業所もしくは一事務所から何名参加していただいても結構ですが必ず参加者名(全員)をお書き下さい。

建築士法第 22 条に基づく

建築士のための滋賀県知事指定講習会

- 開催日時：平成 20 年 2 月 7 日 (木) ◆受付 9：30～ ◆講習 10：00～17：00
- 開催場所：ピアザ淡海 2F ピアザホール
大津市におの浜 1-1-20 TEL. 077-527-3311 FAX. 077-527-3319
- 受講対象者：全建築士 定員 400 名 ●受講料：[会員]8,000 円 (正会員) [非会員]14,000 円
- 申込方法：会員の皆様には 1 月頃に郵送にてご案内いたします。

申込書をご記入の上、返信または FAX にてお申し込み下さい。

受講書の発行はいたしておりませんので、申込後講習会当日会場までお越し下さい。

講習内容(予定)	
知識編	法改正の動向について
	建築士の役割と社会的責務 建築士の契約に関する法的知識
	契約と紛争
技術編	地震安全性 耐震構造免震構造・制振構造
	耐震設計と耐震補強 既存戸建て木造住宅の耐震性の評価

申込み
問合せ

(社)滋賀県建築士会 大津市におの浜 1-1-18

TEL.077-522-1615 FAX. 077-523-1602

平成 19 年度 二級・木造建築士免許証交付式

二級木造建築士の合格発表が 12 月 6 日予定で免許交付式が下記の要綱にて開催されます。事務所、お知り合いがおられたらご出席されるようお願い下さい。

- 日 時：平成 20 年 1 月 11 日 (金) 14：00～15：00
- 場 所：大津プリンスホテル コンベンションホール淡海
- 持参するもの：合格通知のはがき、印鑑、運転免許証など本人が確認できるもの

青年部会事業

家族親睦旅行「郡上八幡&アクア・とと岐阜」

去る10月27日(土)に青年部事業として「郡上八幡&アクア・とと岐阜」に家族親睦旅行に行ってきました。会員と家族の44名の参加で、淡水魚博物館 アクア・とと岐阜の見学や、銘菓を食べ歩きしながらの郡上八幡散策を楽しみました。会員間、家族間の親睦がはかれた有意義な1日でした。



青年部会事業 まど あーき塾『窓採りデザイン』セミナー



平成19年11月9日(金) 野洲中央公民館にて2007年度あーき塾『窓採りデザイン』セミナー開催しました。予定していた2つのテーマは、共に豊富な資料、明快な解説で実務でも参考になる大変有意義なセミナーとなりました。



大原小学校総合学習がはじまりました。

青年部会は11月21日(水)、米原市立大原小学校5年生を対象とした総合学習を開始しました。今年で4回目となるこの事業は、校舎の建設に利用した地元の間伐材をテーマにして、その流通経路を探ることによって木の良さを学び、地球の環境にまで思いを馳せるというものです。総合学習は11月から翌年1月まで、5回延13時間行います。



史上最大のベニヤドーム



青年部会は11月3日(土)、草津市立矢倉小学校創立30周年記念事業でベニヤドーム教室を行いました。たくさんのお子さんによってこれまでにない多くのドームが完成



しました。夕方からはライトアップ、そして花火との共演となりました。この日は県内産の間伐材を加工した積み木(ケルン)もお披露目。こちらも大いに盛り上がりました。

Do シリーズ No.48 秋の研修見学ツアー報告書

◆平成 19 年 11 月 14 日 水曜日

秋晴れの絶好の研修日和でした。参加者 28 名、会員外の方も多数参加頂きまして、研修、親睦、秋の神戸を満喫とかなり充実した研修見学ツアーとなりました。

Azfive 六甲(YKKAP 大型ショールーム)では、サッシの基本性能・次世代ビル用システムサッシの新商品情報のレクチャーを受けた後、水密実験など体験見学し、商品見学もさせて頂きました。



神戸の都心のオアシス相楽園では菊花展が開催中で、花々の色香で迎えられました。重要文化財、旧ハッサム住宅前で記念撮影、同じく重要文化財、旧小寺家厩舎内を見学しました。



最古の民家・箱木家千年家として知られる重要文化財箱木住宅を見学しました。当主、箱木氏直々に解説して頂きました。



予告

ご好評につき伝統工法勉強会パートⅡが始まります。
県内の伝建地区にスポットを当てます。第 1 回目は五個荘町金堂地区旧中江邸。
木構造の講演と保存改修の現場見学を来春平成 20 年 2 月 2 日(土)に予定しています。
どうぞ お楽しみに！

大津支部

大津祭曳山連盟に入会しました

この度大津支部では特定営利活動法人大津曳山連盟に賛助会員として入会しました。

この連盟は、大津祭の伝統と文化を正しく継承すると共に、時代の流れに対応した活動を展開するために、平成16年12月1日特定営利活動法人(NPO法人)としての法人格を取得されました。現在理事長は滋賀県建築士会会員の白井勝好さんが努めておられます。

大津支部では今年発足した青年委員会が中心になって、平成20年から曳き手ボランティアに参加しようと考えています。それは400年の永きに渡り受け継がれてきた伝統文化を継承していくための一助となり、そしてそこに集う仲間達の連携がより一層深まっていくことを願ってのスタートであると思います。

来年の大津祭り曳き山巡行は10月12日ですが、多くの会員の皆様の参加をお願いいたします。



湖南支部

10月19日『建築基準法改正に伴う講習会』が開催されました

平成19年10月19日(金)にクサツエストピアホテル2階 瑞光の間にて、財団法人 滋賀県建築住宅センター業務推進課長 山中誠様をお招きし、「建築基準法改正に伴う講習会」を開催しました。

当日は、法改正の関心の高さからか、当日は50名を超える方々のご参加を頂きました。

今回は主に、4号物の確認申請手続についてのお話をして頂きました。法文も申請書類も添付図面・資料も以前よりも格段が増えており、申請準備にかかる労力も時間も増えています。ただ、これからも私たちは、この建築基準法や今後改正される建築士法とも上手につきあいながら、仕事をして行かなくてはなりません。

早く、落ち着いた状態になることを願ってやみません。



甲賀支部

ヒロシマの心を世界へ!

1945年8月6日、世界初の原爆が広島市に投下されました。一瞬のうちに十数万人の死者と市内の建物の大半が倒壊、焼失しました。

「原爆ドーム」の前に立ったとき、原爆の威力大きさを実感すると同時に身の毛のよだつ思いがしました。

私たちは日々、建物を造りだす仕事に携わっていますが、世界のどこかでは建物は破壊され続けています。改めて世界平和の大切さを感じました。



もう一つ、呉の「大和ミュージアム」をご紹介します。周りを山に囲まれた入り江の中に東洋一の軍港を持つ海軍のまちとして発展。今でも海軍ゆかりの記念館や史跡が多くあります。



湖東支部

世界遺産と重要伝統的建造物群保存地区

世界遺産が一種のブームである。石見銀山が世界遺産に登録され、観光客が急増している。地元はうれしい悲鳴を上げているという。2007年6月ニュージーランドのクライストチャーチで催された世界遺産委員会で奇跡の逆転といわれながら選定されたのが記憶に新しい。日本で14番目の世界遺産となった。

人類の宝である文化財や自然を保護していこうというものであるが、世界遺産へのハードルは極めて高い。申請国の何らかの法律で保護が義務付けられていることが条件の一つである。石見銀山は文化財保護法に基づき1987年に国から重要伝統的建造物群(略して「重伝建」という。)の選定を受けている。

この制度は、1975年の文化財保護法の改正によって創設されたもので、周囲の環境と一体をなして歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を文化財の新しいカテゴリーに捉えることになった。現在、全国では69市町村の81地区が選定を受けている。

ちなみにこうした重伝建で初めて世界遺産に登録されたのは、法改正の翌年に重伝建の選定を、そして1995年(平成7年)に世界遺産に登録された合掌造り集落の白川郷がある。

滋賀県内では、「近江八幡市八幡」、「大津市坂本」、「東近江市五個荘金堂」と3地区が重要伝統的建造物群保存地区選定されている。湖東支部内にはそのうちの2地区がある。(文責T)

彦根支部

街の駅「寺子屋力石」耐震補強工事完成 彦根支部研修見学旅行を計画

●街の駅「寺子屋力石」耐震補強工事完成

9月29日からはじまりました、ひこね「街の駅」寺子屋力石の市民・学生・建築士と工務店とが一緒にワークショップとして工事をすすめていき耐震補強工事（一期工事）が完了いたしました。今回の耐震補強では、2つの耐震壁を採用されています。一つは土壁の乾式方法である「荒壁パネル」で、一つは「面格子」です。一度見に来てください。ひこね「街の駅」寺子屋力石 花しょうぶ通り商店街

彦根市河原 2-3-6 TEL.0749-27-2810



●彦根支部研修見学旅行を計画

彦根支部では今年度は海外研修見学旅行を企画中です。来年の2月中旬ごろに「上海研修見学旅行」2泊3日の計画を考えております。詳細は決まり次第お知らせいたします。参加しようかなと思われる方は、早めにパスポートの準備をしておいてください。

湖北支部

「不燃・天然木加工工場」見学会・ 湖北支部・同賛助会親睦ゴルフコンペ・ 浅井商工まつり「あざい三方市」

●「不燃・天然木加工工場」見学会

10月24日（水）14時からで天然の木材をそのままの状態では不燃化出来る認定工場の杉本建設長浜工場を見学しました。平日にも関わらず30人の参加がありました。

この工場では、内装材、外装材の区別無く天然の木材を持ち込めば不燃加工できるという技術の見学が出来ました。工場内には真空加圧注入機、木材蒸気式乾燥機、ボイラー、モルダー、ベントサイダー等の機械があり、成形も見学できました。この技術を利用すれば県産材の活用の頻度も増やせる事が出来るのではと期待が持てました。



●湖北支部・同賛助会親睦ゴルフコンペ

10月18日（木）名神八日市カントリー倶楽部で毎年恒例の湖北支部・同賛助会親睦ゴルフコンペが開催されました。今年も湖南支部様より御参加戴き27名のコンペとなり、天候にも恵まれ楽しい一日となりました。又、夜には湖南支部の皆さんにも遠路長浜の地まで足を運んで戴き合同の懇親会を行いました。コンペの結果は

優勝：内堀正幸氏（湖南支部）準優勝：山元利男氏（湖南支部）でした。

●浅井商工まつり「あざい三方市」

「来て！見て！買って！滋賀の元気をあざいから」のキャッチフ

レーズで、県下最大級の物産市 浅井商工まつり「あざい三方市」が、10月13日に長浜市の浅井文化スポーツ公園で、秋晴れのもと盛大に開催されました。近江商人の理念、売り手よし・買い手よし・世間よしの三方よしから命名したそうで、県内各所より30店舗以上の特産品を販売する出店があり、約1万5千人の来場者でにぎわっていた。当日は約130ブースのフリーマーケットや、ミニSLの運行・もちつき大会・福祉まつり等のイベントも盛りだくさんで、終日にぎわいがとどえることはありません。来年は一度見に来てください。



●新春家族ボーリング大会のご案内

開催日時：平成20年1月26日（土）※詳しくは支部事務局まで

湖西高島支部

動物愛護か地域の安全か

今、高島市では犬の問題で大きな波紋が広がっています。それは、アークエンジェルズという動物愛護団体が、市内今津町酒波（さなみ）に犬の保護施設を作り、ブルセラ病に感染した犬たちを運び込もうとして、それに反対する地元との間で、市当局をも巻き込んだ衝突が起こっているからなのです。10月21日の話し合いでは、双方で合意ができるまでは搬入を見合わせるということで折り合いがついたようです。動物愛護か地域の安全か、全く違う次元の話を単純に良い悪しで決めるのではなく、お互いの立場を十分に理解できるように話し合い、その上で結論を出すという形になったことが、大変良かったと思います。地域政策やまちづくりにおいても、早々に結論を急がず、まずはじっくり話し合い、お互いの意見を十分に聞いたうえで合意できる点を見出すことが大切だと、改めて感じた次第です。アークエンジェルズは、広島をはじめ色々ところで悪評も聞かれる団体ですが、そうした風評に惑わされず、大切な点をしっかり見極めて話し合いが続けられますように。今後、この騒動はどのような結論を迎えるのかは分かりませんが、こうした経験がこれからの地域づくりに生かされることを祈っています。（湖西高島支部 谷口浩志）

湖西滋賀支部

支部単独の見学研修会

去る10月21日、数年ぶりで支部単独の見学研修会を開催しました。当日は絶好の秋日和りにも恵まれ、会員と家族、あるいは会員の知人、また士会会員でもあり地元の海洋少年団を長く指導されて地域に貢献されている八軒茂勉さんが、団員の小学生5人を引率されて参加していただきました。老若男女和気あいあいの楽しい一日となりました。

朝8時に新車の江若観光バスに乗って堅田駅を出発、総勢32名です。午前中は団内で村内を見て歩き、昼食は村内食堂で。駅弁仕立ての洒落た弁当に皆、舌づつみをうちました。午後は3時まで自由行動とし、思い思いの建物を見て歩きました。

往復車中は美人ガイドさんが、当意即妙の御喋りで和やかな雰囲気を作っていました。大人は漱石の家に郷愁を感じ、子どもたちは帝国ホテルに感激していたようです。会員の皆様、ご苦労様でした。（T.N）





北国街道の歴史を受け継ぎ現代のまちおこしに成功し、にぎわいを見せている長浜の黒壁スクエア附近です。落合輝夫

12月の暦

1	土	先勝	
2	日	友引	
3	月	先負	
4	火	仏滅	
5	水	大安	三役会 13:30 理事会 15:30 評議員会 16:00 OB会 17:30 共通会場：琵琶湖ホテル
6	木	赤口	大原小学校総合学習
7	金	先勝	
8	土	友引	
9	日	先負	
10	月	大安	
11	火	赤口	
12	水	先勝	
13	木	友引	「建築確認申請手続等の解説」講習会 会場：ひこね燻ばれず
14	金	先負	
15	土	仏滅	
16	日	大安	
17	月	赤口	
18	火	先勝	「建築確認申請手続等の解説」講習会 会場：ピアザ淡海
19	水	友引	
20	木	先負	
21	金	仏滅	
22	土	大安	
23	日	赤口	
24	月	先勝	
25	火	友引	事務局会議
26	水	先負	
27	木	仏滅	
28	金	大安	
29	土	赤口	年末 休暇
30	日	先勝	
31	月	友引	

滋賀のヴォーリズ建築

近江サナトリウム(近江八幡市北之庄)

北と西が八幡山で囲まれたその土地は、東南に開けた良好な地形と温和な気候に恵まれていた。吉田悦蔵氏の日記にもその土地について書き記されている。

— 雪もちらほら残っている道のないところをくさむらをかきわけて登って行った。すると飛び出したのは一匹のバッタであった。夏の終わりにその短い命を落とすはずのこの虫を取りあげた私は、「ヴォーリズさん、バッタですよ。ここは冬でも暖かいのですかね。」と言うと「そうそう面白いものを見つけましたね。わたしはこの土地を農園にでもして、きみらといっしょにアメリカの野菜や果物を作ったり、鶏をかったりしてみたいです」とヴォーリズさんが答えた。—

ヴォーリズは、大正3年にその地に四千坪を入手し、養鶏場やトマト畑として活用するとともに、長命寺巡礼街道に面するところに無料休憩所をつくって、道行く人が湯水を飲めるようにした。休憩所の壁には、キリスト教について話したい人はキリスト教青年会館を訪ねてください、と示していた。

数年たったある日、遠藤観隆という青年が訪ねてきた。

「わたしは会津のものです。12歳のころ寺にやられました。三年前から比叡山の学林に来て小僧をしておりましたが、山の生活にはどうしても生命を打ち込めませんから、堅田から船で長命寺に渡りました。無一文の私は、空腹をかかえながらとぼとぼきますと、あの「やすみ所」が私を待っていました。壁をみますと、ここへ来いとありましたからお訪ねしました。私が本当に生命を打ち込んでする仕事はないでしょうか。」

そこへヴォーリズさんが出てきて告げた。

「あなたは本当に真理を握りたいのであれば、どんなことでも喜んで働かなければなりません。坊さんの衣をぬいで、明日から私の事務所で製図を見習ってはどうか。」

それから遠藤はヴォーリズ建築事務所で働くことになった。ヴォーリズは、この無一文の男に部屋、着物、三度の食事も支給するなど、まるで息子のように色々世話をした。

遠藤は繊細な技巧の持ち主であった。ゴシック風の製図に抜群の技量を示してきた。

しかし、数ヵ月後、肋膜炎から肺に痛手を受けた。ヴォーリズの発案でこの農園に自然療法に適した小屋を建て、静かに養生させた。数ヵ月後、ついに彼は孤独のうちに死んでしまった。彼の死はヴォーリズ自身に強く響き、ミス・メアリー・ツッカー氏の寄付金を得て、肺結核療養所が出来上がった。

(石井和浩)



近江サナトリウム
(THE OMBROTHERHOOD IN NIPPON より)



KATSUYUKI ENDO
(The first young Buddhist Priest to join us, and pioneer of our Sanatorium.)
遠藤観隆
(THE OMBROTHERHOOD IN NIPPON より)